

開催報告

トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会 第13回 天王川自然再生ワーキンググループ



開催日：2017年2月8日(水)18:00~20:00

場所：トキ交流会館2階会議室

参加者：WGメンバー11名、傍聴7名

ひつじを除草に活用する社会実験の結果報告をした後、自然再生後の天王川をどのような枠組みで維持管理していくかの議論を行いました。

今回は、ひつじを除草に活用している滋賀県の事例を紹介するとともに、湯上温泉で行ったひつじの除草効果の社会実験の結果を報告しました。

また、前回に引き続き、天王川の自然再生後の維持管理を担う組織の枠組みについて議論を行い、主に活動資金や行政の関わり方などについて活発な意見交換をしていただきました。



WGの様子

参考になったこと



- ・集落内には、民間企業による多数のソーラーパネルが設置されていて、土地の借地料は自治会の収入源
- ・ソーラーパネルの下は、ひつじの休憩場所にもなる

滋賀県における取組

試験飼育の概要

【ひつじの種類など】

サフォーク種 2頭 (7オオス、5オオス)
県立高田農業高等学校から借用

【飼育期間】

平成28年9月11日~10月4日

【飼育場所】

湯上温泉
アイマーク環境(株)様のご厚意で、飼育場所の提供、ひつじの飼育をしていただきました



コーン(7オオス)



ニーサ(5オオス)

21

どのくらい草をたべるか？

・牧柵で囲まれたエリア(10m×10m)は、3日間程度できれいに草を食べました。



26

ひつじの草食効果に関する内容

〈滋賀県での取組〉

- 滋賀県では、害獣対策、雑草対策などを目的として、地域でひつじを飼っている事例があり、副次的な効果として、地域コミュニティの醸成につながっている。
- ひつじの食欲は旺盛で2反の広さなら2頭くらいで十分な草食効果が得られる。
- ひつじは病気やケガにも強く、飼育手間はそれほどかかるものではない。
- ひつじの毛の有効利用は思ったほど簡単ではないが、福祉施設に無償で提供し、洗浄・染色をしたものを有料で買い取り、ストラップや人形づくりに使うという取組が参考になった。

〈潟上温泉での社会実験〉

- 社会実験として借り受けたひつじが5才、7才と高齢であったため思ったほどの草食効果の確認ができなかった。（高齢のひつじは食が細く、好き嫌いがかなりあることは分かった）
- ひつじは2頭以上で精神的に安定するので、2頭一緒に移動させる必要がある。そのため、移動時には複数の人員が必要であることが分かった。

維持管理の枠組みに関する意見交換会での主なご意見

- トキ、ホタルの生態に配慮するところまでは良いが、ひつじを活用するととなるとフォーカスがぼけるのではないかという気がする。
- 維持管理団体に県や市がどのように位置づけられるのか検討が必要。他県の団体などの情報も収集して参考にすべきだ。
- 会計管理はしっかり行う必要があることから県や市が維持管理団体の一員として入ることが望ましい。
- 民間の助成金に応募する際に、行政があまり中心的存在だと助成対象にされないのではないか。
- 草刈りを効率的に行うには小型の重機や草刈り用のアタッチメントなども団体として保有できるとよい。

今後の予定

- 他県の類似活動をになっている団体・組織の枠組みなどの情報を収集し、維持管理及び利活用の主体となる組織の枠組みについて議論を深めていきます。

天王川自然再生ワーキンググループの構成メンバー

- ◆ 地元集落：潟上集落、正明寺集落、田野沢集落
- ◆ 関係団体：佐渡生きもの語り研究所、トキどき応援団、潟上水辺の会、加茂湖漁業協同組合、佐渡島加茂湖水系再生研究所、生樺の自然を守る会
- ◆ 学校関係：伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡市立行谷小学校
- ◆ 行政機関：環境省佐渡自然保護官事務所
- ◇ 事務局：佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市役所建設課、佐渡市役所農林水産課

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局地域整備部 担当) 計画調整課 水倉、藤澤

TEL : 0259-74-4040 FAX : 0259-74-2048 Email : fujisawa.masamichi@pref.niigata.lg.jp